

## 令和4年度（インクルーシブ教育推進課）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	職員の意識啓発等を行うことにより、公務外の不祥事を未然防止する。	<p>【目標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各職員の法令遵守の意識の醸成・向上を図ることができた。</li> </ul> <p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職場研修で当課の不祥事ゼロプログラムなどを使って教育公務員として高い法令遵守の意識が求められていることを伝え、職員の法令遵守の醸成・向上を図った。</li> <li>教育公務員として公務内外を問わず法令遵守の意識が求められている旨を申し添えて、懲戒処分や職員逮捕に関して発出される綱紀保持通知を、庁内メールで各職員に送信するとともに、同日の朝礼でも伝え、職員の法令遵守の意識の醸成・向上を図った。</li> </ul>
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	職員の意識啓発を行い、情報の管理方法を確認することにより、情報の紛失、漏洩等を未然防止する。	<p>【目標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒・講師等に関する個人情報は、適切に保管、利用された。</li> </ul> <p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職場研修等を通じて、生徒・講師等の個人情報については、施錠してキャビネットに保管し、使用時に開錠・施錠するルールを伝え、全職員により、ルールが厳守された。</li> <li>FAXによる資料の送信や個人情報の廃棄の際は、2人により行うなどのルールが厳守された。</li> </ul>
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	職員間の相互チェック体制や業務協力体制を確立し、適切な業務体制を図る。	<p>【目標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各職員に決裁の際の相互チェックする意識が浸透した。また、職員間の情報共有する意識も根付いた。</li> </ul> <p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員に起案の徹底と、決裁にあたっては、担当者という意識をもって決裁し、相互チェックをするよう周知した。</li> </ul>

## ○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題（所属長意見）

- 令和4年度においては、日常業務を通じた指導や職場研修を通じて所属の不祥事ゼロプログラムを周知徹底し、目標を達成することができた。
- 令和5年度においては、引き続き、法令遵守の意識の醸成・向上、個人情報の管理徹底、パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント防止等に取り組むこととする。